

LM・ブラジル国債ファンド (毎月分配型)

運用報告書 (全体版)

第132期	決算日	2019年10月15日
第133期	決算日	2019年11月13日
第134期	決算日	2019年12月13日
第135期	決算日	2020年1月14日
第136期	決算日	2020年2月13日
第137期	決算日	2020年3月13日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル国債マザーファンド	ブラジル・レアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月13日。休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

当報告書に関するお問い合わせ先：
レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「LM・ブラジル国債ファンド（毎月分配型）」は、2020年3月13日に第137期の決算を行いましたので、第132期、第133期、第134期、第135期、第136期、第137期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

○最近30期の運用実績

決算期	基準額 (分配落)	価額			債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		税金	込配	み騰落			
	円	円	騰落	中率	%	%	百万円
108期(2017年10月13日)	5,439	35		1.2	97.1	—	58,816
109期(2017年11月13日)	5,279	35	△	2.3	96.2	—	56,317
110期(2017年12月13日)	5,216	35	△	0.5	95.4	—	55,337
111期(2018年1月15日)	5,332	35		2.9	99.1	—	56,128
112期(2018年2月13日)	5,061	35	△	4.4	98.4	—	52,372
113期(2018年3月13日)	5,063	35		0.7	97.7	—	52,264
114期(2018年4月13日)	4,889	35	△	2.7	97.0	—	49,811
115期(2018年5月14日)	4,678	35	△	3.6	96.1	—	46,829
116期(2018年6月13日)	4,452	35	△	4.1	95.6	—	44,168
117期(2018年7月13日)	4,366	35	△	1.1	100.0	—	43,217
118期(2018年8月13日)	4,280	35	△	1.2	98.6	—	42,927
119期(2018年9月13日)	3,981	35	△	6.2	97.6	—	40,484
120期(2018年10月15日)	4,457	35		12.8	97.0	—	45,413
121期(2018年11月13日)	4,557	35		3.0	96.0	—	44,505
122期(2018年12月13日)	4,462	35	△	1.3	95.7	—	43,240
123期(2019年1月15日)	4,471	35		1.0	98.7	—	44,845
124期(2019年2月13日)	4,540	35		2.3	98.6	—	45,201
125期(2019年3月13日)	4,449	35	△	1.2	97.9	—	44,053
126期(2019年4月15日)	4,374	35	△	0.9	97.2	—	43,464
127期(2019年5月13日)	4,207	35	△	3.0	96.5	—	42,031
128期(2019年6月13日)	4,298	25		2.8	96.0	—	43,582
129期(2019年7月16日)	4,448	25		4.1	99.1	—	45,074
130期(2019年8月13日)	4,086	25	△	7.6	98.8	—	42,254
131期(2019年9月13日)	4,104	25		1.1	97.8	—	43,224
132期(2019年10月15日)	4,093	25		0.3	97.8	—	43,539
133期(2019年11月13日)	4,062	25	△	0.1	97.4	—	43,539
134期(2019年12月13日)	4,133	25		2.4	96.8	—	45,196
135期(2020年1月14日)	4,089	25	△	0.5	99.4	—	44,665
136期(2020年2月13日)	3,892	25	△	4.2	98.9	—	42,843
137期(2020年3月13日)	3,267	25	△	15.4	98.2	—	36,014

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第132期	(期 首) 2019年9月13日	円 4,104	% —		% 97.8	% —
	9月末	4,030	△ 1.8		97.9	—
	(期 末) 2019年10月15日	4,118	0.3		97.8	—
第133期	(期 首) 2019年10月15日	4,093	—		97.8	—
	10月末	4,270	4.3		97.3	—
	(期 末) 2019年11月13日	4,087	△ 0.1		97.4	—
第134期	(期 首) 2019年11月13日	4,062	—		97.4	—
	11月末	4,025	△ 0.9		96.4	—
	(期 末) 2019年12月13日	4,158	2.4		96.8	—
第135期	(期 首) 2019年12月13日	4,133	—		96.8	—
	12月末	4,173	1.0		96.7	—
	(期 末) 2020年1月14日	4,114	△ 0.5		99.4	—
第136期	(期 首) 2020年1月14日	4,089	—		99.4	—
	1月末	3,968	△ 3.0		99.0	—
	(期 末) 2020年2月13日	3,917	△ 4.2		98.9	—
第137期	(期 首) 2020年2月13日	3,892	—		98.9	—
	2月末	3,760	△ 3.4		98.6	—
	(期 末) 2020年3月13日	3,292	△15.4		98.2	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

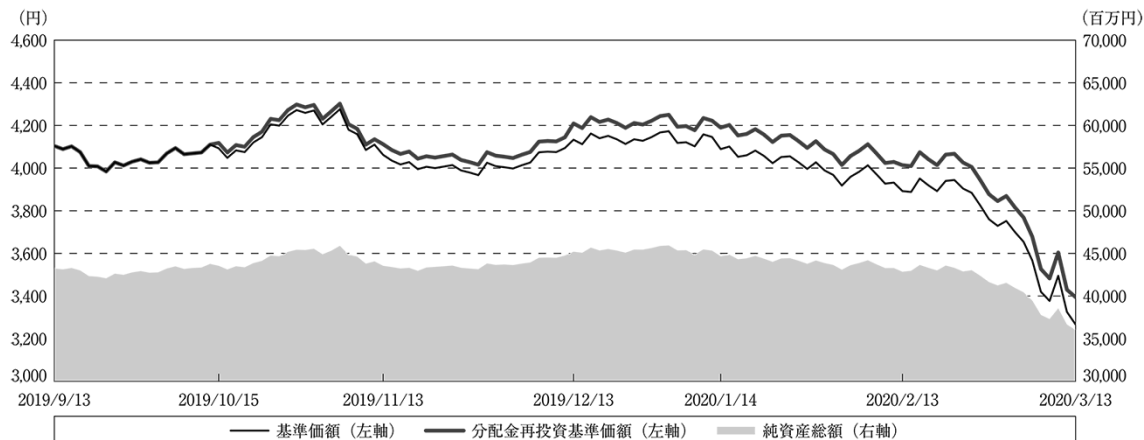
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2019年9月14日～2020年3月13日)



第132期首： 4,104円

第137期末： 3,267円 (既払分配金(税込み):150円)

騰落率：△ 17.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2019年9月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

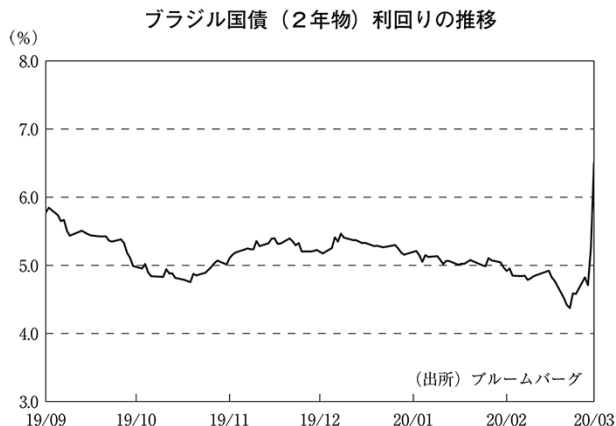
当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はマイナス(分配金再投資ベース)となりました。ブラジルリアル安・円高を反映して、為替損益がマイナスとなったことが主に影響しました。公社債損益についても、債券利回りが上昇したことからマイナスとなりました。一方、ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。

当作成期のブラジル債券市場では、利回りが上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、ブラジル中央銀行（BCB）が2019年9月、10月の金融政策委員会（COPOM）で利下げを決定し、追加利下げの可能性も示唆したことなどから、利回りは低下基調となりました。さらに、年金改革法案が議会承認されたことも好感され、利回りの低下（価格は上昇）が進みました。

期の半ばは、チリの政情不安を背景に南米地域への不透明感が広がり、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、利回りは上昇しました。しかし、その後、米中貿易協議の合意を背景に投資家のリスク回避姿勢が後退し、ブラジル資産が見直されたことから、利回りは低下しました。

期の後半は、経済指標が予想より弱かったことなどから、BCBによる追加利下げ観測が強まり、利回りは緩やかに低下しました。その後、新型肺炎の感染拡大による世界経済への影響が懸念され、BCBによる金融緩和策が長期化するとの見方が強まったことから、利回りは低下しました。しかし、当作成期末にかけては、リスク回避姿勢が強まったことから、利回りは急上昇しました。

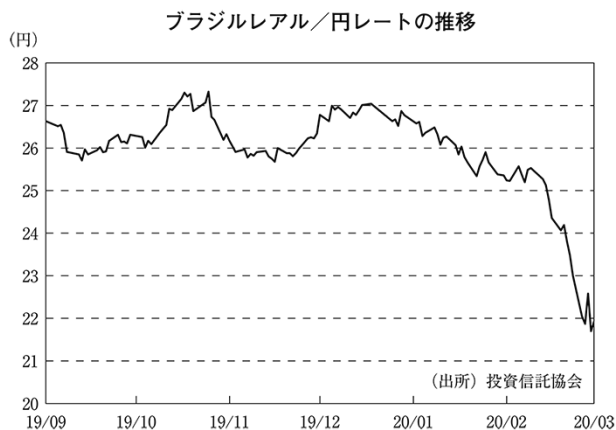


当作成期のブラジルリアル・円相場は、リアル安・円高となりました。

期の前半は、BCBが利下げを決定したことなどから、リアルは対円で上値の重い展開となりました。しかし、その後、年金改革法案が承認されたことや、米中貿易協議の進展期待が高まりリスク回避姿勢が後退したことなどから、リアル買い・円売りが優勢となりました。

期の半ばは、チリの政情不安を背景としたペソ安の影響から南米通貨が下落し、リアルも対円で軟調となりました。しかし、その後は、米中貿易協議が合意に達し投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから、リアル買い・円売りが優勢となりました。また、ブラジル経済への前向きな見方が広がり、リアルは対円で底堅く推移しました。

期の後半は、BCBによる利下げ観測が強まったことや、新型肺炎の感染拡大による世界経済への影響が懸念されたことなどから、新興国通貨が軟調となる中、リアル売り・円買いが急速に進みました。



当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

分配金

(2019年9月14日～2020年3月13日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
	2019年9月14日～ 2019年10月15日	2019年10月16日～ 2019年11月13日	2019年11月14日～ 2019年12月13日	2019年12月14日～ 2020年1月14日	2020年1月15日～ 2020年2月13日	2020年2月14日～ 2020年3月13日
当期分配金 (対基準価額比率)	25 0.607%	25 0.612%	25 0.601%	25 0.608%	25 0.638%	25 0.759%
当期の収益	20	18	23	18	18	15
当期の収益以外	4	6	1	6	6	9
翌期繰越分配対象額	246	240	238	232	226	217

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年9月14日～2020年3月13日)

項 目	第132期～第137期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 34	% 0.848	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(17)	(0.410)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(17)	(0.410)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.085	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.075)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 等 費 用)	(0)	(0.008)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
合 計	37	0.933	
作成期間の平均基準価額は、4,037円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

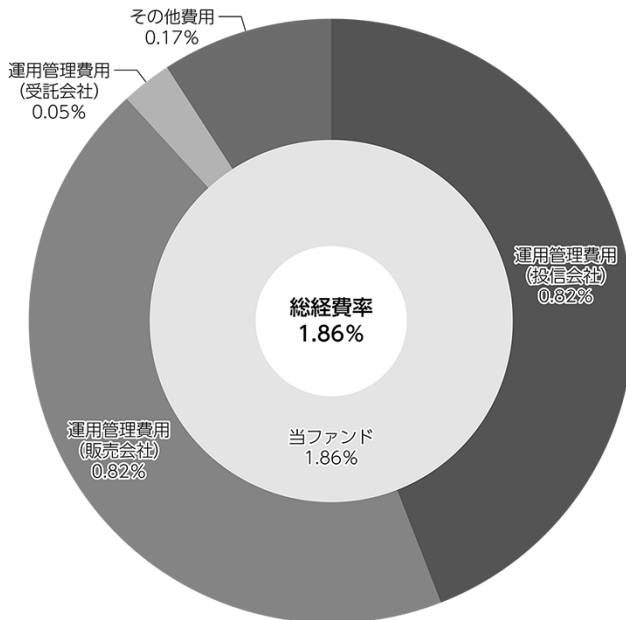
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年9月14日～2020年3月13日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第132期～第137期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
LM・ブラジル国債マザーファンド	千口 3,451,943	千円 5,841,106	千口 3,446,029	千円 5,830,429

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年9月14日～2020年3月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2019年9月14日～2020年3月13日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年9月14日～2020年3月13日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年3月13日現在)

親投資信託残高

銘柄	第131期末	第137期末	
	口数	口数	評価額
LM・ブラジル国債マザーファンド	千口 25,804,950	千口 25,810,864	千円 36,346,859

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2020年3月13日現在)

項 目	第137期末	
	評 価 額	比 率
LM・ブラジル国債マザーファンド	千円 36,346,859	% 99.7
コール・ローン等、その他	93,748	0.3
投資信託財産総額	36,440,607	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) LM・ブラジル国債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(45,463,679千円)の投資信託財産総額(46,238,429千円)に対する比率は98.3%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月13日における邦貨換算レートは1米ドル=105.17円、1ブラジルリアル=21.92円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末	第136期末	第137期末
	2019年10月15日現在	2019年11月13日現在	2019年12月13日現在	2020年1月14日現在	2020年2月13日現在	2020年3月13日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	43,952,967,873	43,934,862,483	45,625,522,690	45,080,455,007	43,280,515,290	36,440,607,154
LM・ブラジル国債マザーファンド(評価額)	43,869,820,437	43,868,753,108	45,531,300,097	45,006,996,341	43,180,846,987	36,346,859,462
未収入金	83,147,436	66,109,375	94,222,593	73,458,666	99,668,303	93,747,692
(B) 負債	413,345,769	394,888,499	429,283,304	415,119,319	437,105,907	426,063,663
未払収益分配金	265,957,875	267,985,817	273,361,017	273,078,341	275,183,583	275,598,106
未払解約金	83,147,436	66,109,375	94,222,593	73,458,666	99,668,303	93,747,692
未払信託報酬	63,449,588	60,076,534	61,005,545	67,835,849	61,513,211	56,109,728
その他未払費用	790,870	716,773	694,149	746,463	740,810	608,137
(C) 純資産総額(A-B)	43,539,622,104	43,539,973,984	45,196,239,386	44,665,335,688	42,843,409,383	36,014,543,491
元本	106,383,150,352	107,194,327,117	109,344,407,176	109,231,336,543	110,073,433,455	110,239,242,525
次期繰越損益金	△ 62,843,528,248	△ 63,654,353,133	△ 64,148,167,790	△ 64,566,000,855	△ 67,230,024,072	△ 74,224,699,034
(D) 受益権総口数	106,383,150,352口	107,194,327,117口	109,344,407,176口	109,231,336,543口	110,073,433,455口	110,239,242,525口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,093円	4,062円	4,133円	4,089円	3,892円	3,267円

<注記事項>

(注) 元本の状況

当作成期首元本額 105,321,457,038円
 当作成期中追加設定元本額 14,468,195,425円
 当作成期中一部解約元本額 9,550,409,938円

(注) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は74,224,699,034円であります。

○損益の状況

項 目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
	2019年9月14日～ 2019年10月15日	2019年10月16日～ 2019年11月13日	2019年11月14日～ 2019年12月13日	2019年12月14日～ 2020年1月14日	2020年1月15日～ 2020年2月13日	2020年2月14日～ 2020年3月13日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	222,906,630	△ 26,597,606	1,133,970,449	△ 142,686,627	△ 1,810,300,946	△ 6,553,155,353
売買益	264,443,095	4,937,332	1,168,875,368	1,745,986	11,546,572	31,786,900
売買損	△ 41,536,465	△ 31,534,938	△ 34,904,919	△ 144,432,613	△ 1,821,847,518	△ 6,584,942,253
(B) 信託報酬等	△ 64,240,458	△ 60,793,307	△ 61,699,694	△ 68,582,312	△ 62,254,021	△ 56,717,865
(C) 当期損益金(A+B)	158,666,172	△ 87,390,913	1,072,270,755	△ 211,268,939	△ 1,872,554,967	△ 6,609,873,218
(D) 前期繰越損益金	△20,129,166,999	△19,967,817,850	△19,997,215,583	△18,857,771,617	△18,998,460,632	△20,676,154,932
(E) 追加信託差損益金	△42,607,069,546	△43,331,158,553	△44,949,861,945	△45,223,881,958	△46,083,824,890	△46,663,072,778
(配当等相当額)	(2,596,224,503)	(2,619,404,931)	(2,625,204,556)	(2,607,084,586)	(2,559,037,113)	(2,492,422,293)
(売買損益相当額)	(△45,203,294,049)	(△45,950,563,484)	(△47,575,066,501)	(△47,830,966,544)	(△48,642,862,003)	(△49,155,495,071)
(F) 計(C+D+E)	△62,577,570,373	△63,386,367,316	△63,874,806,773	△64,292,922,514	△66,954,840,489	△73,949,100,928
(G) 収益分配金	△ 265,957,875	△ 267,985,817	△ 273,361,017	△ 273,078,341	△ 275,183,583	△ 275,598,106
次期繰越損益金(F+G)	△62,843,528,248	△63,654,353,133	△64,148,167,790	△64,566,000,855	△67,230,024,072	△74,224,699,034
追加信託差損益金	△42,607,069,546	△43,379,748,343	△44,969,842,307	△45,293,889,629	△46,157,211,478	△46,763,585,654
(配当等相当額)	(2,599,181,447)	(2,573,584,952)	(2,609,782,222)	(2,539,460,702)	(2,488,677,966)	(2,394,421,590)
(売買損益相当額)	(△45,206,250,993)	(△45,953,333,295)	(△47,579,624,529)	(△47,833,350,331)	(△48,645,889,444)	(△49,158,007,244)
分配準備積立金	19,416,767	-	-	-	-	-
繰越損益金	△20,255,875,469	△20,274,604,790	△19,178,325,483	△19,272,111,226	△21,072,812,594	△27,461,113,380

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	219,187,089	200,237,020	253,380,655	203,070,670	201,796,995	175,085,230
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	2,599,181,447	2,622,174,742	2,629,762,584	2,609,468,373	2,562,064,554	2,494,934,466
(D) 分配準備積立金	66,187,553	19,159,007	0	0	0	0
分配対象収益額(A+B+C+D)	2,884,556,089	2,841,570,769	2,883,143,239	2,812,539,043	2,763,861,549	2,670,019,696
(1万円当たり収益分配対象額)	(271)	(265)	(263)	(257)	(251)	(242)
収 益 分 配 金	265,957,875	267,985,817	273,361,017	273,078,341	275,183,583	275,598,106
(1万円当たり収益分配金)	(25)	(25)	(25)	(25)	(25)	(25)

○分配金のお知らせ

	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
1万口当たり分配金(税込み)	25円	25円	25円	25円	25円	25円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。

分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

LM・ブラジル国債マザーファンド

運用状況のご報告

第12期 決算日 2020年3月13日

(計算期間：2019年3月14日～2020年3月13日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ブラジル国債マザーファンド」の第12期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主としてブラジル・リアル建てのブラジル国債を中心に投資を行います。 2. 原則として外貨建資産の為替ヘッジを行いません。 3. 債券の流動性や残存年数に配慮しながらポートフォリオを構築します。
主 要 運 用 対 象	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	円	騰落率			
8期(2016年3月14日)	12,677	△ 8.7	97.2	—	百万円 59,834
9期(2017年3月13日)	17,469	37.8	96.9	—	67,945
10期(2018年3月13日)	17,757	1.6	96.9	—	60,032
11期(2019年3月13日)	17,432	△ 1.8	97.0	—	51,018
12期(2020年3月13日)	14,082	△19.2	97.3	—	46,112

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債券先物比率
	円	騰落率		
(期首) 2019年3月13日	17,432	—	97.0	—
3月末	16,986	△ 2.6	97.4	—
4月末	16,988	△ 2.5	96.7	—
5月末	16,767	△ 3.8	96.2	—
6月末	17,509	0.4	95.9	—
7月末	18,027	3.4	98.6	—
8月末	16,054	△ 7.9	98.1	—
9月末	16,586	△ 4.9	97.8	—
10月末	17,704	1.6	97.3	—
11月末	16,813	△ 3.6	96.3	—
12月末	17,565	0.8	96.6	—
2020年1月末	16,830	△ 3.5	98.9	—
2月末	16,069	△ 7.8	98.5	—
(期末) 2020年3月13日	14,082	△19.2	97.3	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。



○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナスとなりました。為替損益が、ブラジルリアル安・円高を反映して大幅なマイナス寄与となりました。一方、ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。公社債損益については、基準価額への影響は大きくありませんでした。

当期のブラジル債券市場では、利回りが低下（価格は上昇）しました。

期の前半は、利回りは概ね横ばいで推移しました。その後、年金改革法案審議の進展期待が強まったことや、ブラジル中央銀行（BCB）による利下げ観測が強まったことなどから、利回りは低下しました。

期の半ばは、米中貿易摩擦激化への懸念などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、利回りは一時上昇（価格は下落）しました。しかし、BCBが利下げを決定したことや、年金改革法案が議会承認されたことなどが好感され、利回りの低下が進みました。

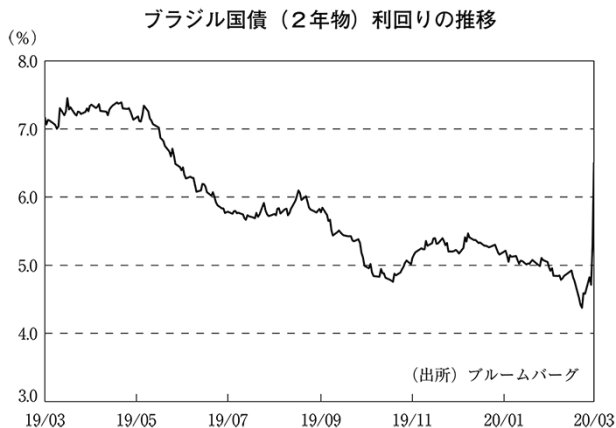
期の後半は、米中貿易協議における合意を背景に投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから、利回りは低下しました。その後、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への影響が懸念され、BCBによる金融緩和政策が長期化するとの見方が強まったことから、利回りは低下しました。しかし、当期末にかけては、リスク回避姿勢が強まったことから、利回りは急上昇しました。

当期のブラジルリアル・円相場は、リアル安・円高となりました。

期の前半は、世界経済の減速懸念が高まったことや、新興国通貨が軟調となった流れを受け、リアル売り・円買いが優勢となりました。しかし、その後は、年金改革法案審議の進展期待などを背景に、リアルは対円で底堅く推移しました。

期の半ばは、BCBが利下げを決定したことや、米中貿易摩擦懸念が強まり投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、リアル売り・円買いが強まりました。しかし、その後、年金改革法案が議会承認されたことや、米中貿易協議の進展期待が高まりリスク回避姿勢が後退したことなどから、リアルは対円で底堅く推移しました。

期の後半は、米中貿易協議が合意に達し投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから、レ



ル買い・円売りが優勢となりました。しかし、その後、BCBによる利下げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への影響が懸念されたことなどから、リスク回避姿勢が強まり、リアル売り・円買いが急速に進みました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2019年3月14日～2020年3月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 25 (25)	% 0.150 (0.150)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	25	0.150	
期中の平均基準価額は、16,991円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年3月14日～2020年3月13日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 1,907,795	千ブラジルリアル 1,234,745 (329,000)

(注) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年3月14日～2020年3月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○特定資産の価格等の調査

(2019年3月14日～2020年3月13日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年3月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	46,238,429,357
コール・ローン等	776,900,178
公社債(評価額)	44,869,076,656
未収入金	42,783,220
未収利息	542,839,404
前払費用	6,829,899
(B) 負債	125,881,488
未払解約金	125,881,488
(C) 純資産総額(A-B)	46,112,547,869
元本	32,745,533,541
次期繰越損益金	13,367,014,328
(D) 受益権総口数	32,745,533,541口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,082円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	29,266,666,535円
期中追加設定元本額	10,952,493,082円
期中一部解約元本額	7,473,626,076円

(注) 期末における元本の内訳

LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配型)	25,810,864,552円
LM・ブラジル国債ファンド(年2回決算型)	5,316,449,352円
LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用)	1,618,219,637円

○損益の状況 (2019年3月14日～2020年3月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,431,973,797
受取利息	3,432,416,832
支払利息	△ 443,035
(B) 有価証券売買損益	△14,197,817,168
売買益	182,678,068
売買損	△14,380,495,236
(C) 保管費用等	△ 79,437,878
(D) 当期損益金(A+B+C)	△10,845,281,249
(E) 前期繰越損益金	21,751,693,055
(F) 追加信託差損益金	7,749,497,620
(G) 解約差損益金	△ 5,288,895,098
(H) 計(D+E+F+G)	13,367,014,328
次期繰越損益金(H)	13,367,014,328

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。